東北すくすくプロジェクト活動報告　2012-2013

１.活動内容

東北すくすくプロジェクトでは、震災被災地における母子支援として人材育成及びコミュニティ作りを活動の基本として進めています。全体の内容は下記の図のとおりですが、2012-2013 年度においては、気仙沼において「ママサロン」「サイコロジカルファーストエイド」「母乳育児支援セミナー」を実施しました。

①ママサロン（安心・安全な母子の集いの場、憩いの場を提供）

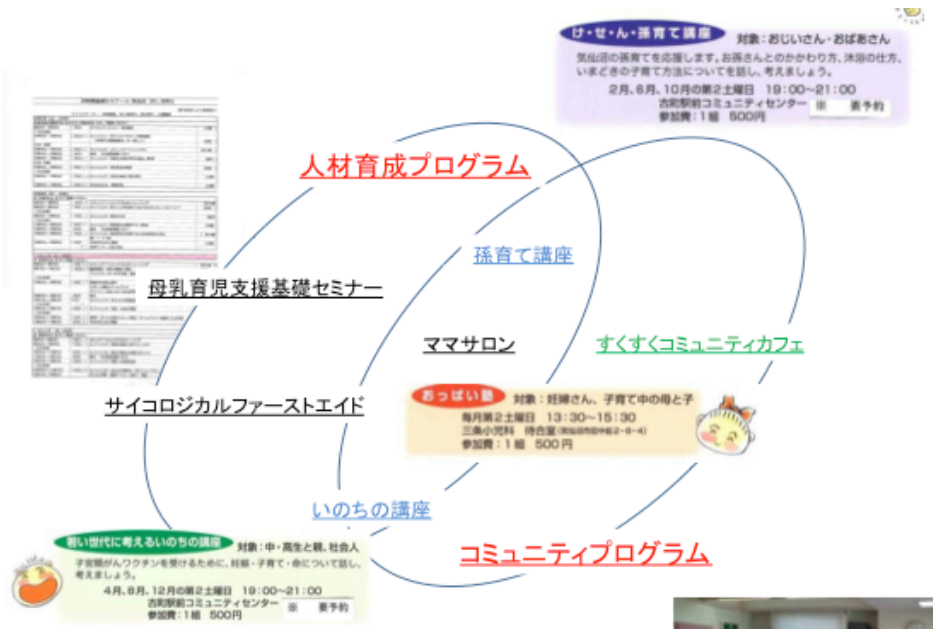
・育児相談（発育・栄養・予防接種・放射能 etc.）
・親と子のふれあい
・母親のケア・リラクゼーション

②サイコロジカルファーストエイド（Psychological First Aid）

被災者への心理的支援セミナー

③母乳育児支援セミナー（IBCLC：国際認定ラクテイションコンサルタント）

母乳育児の援助とケアのための資格取得コース
基礎セミナーを始め、継続的な単位取得により認定資格の取得



黒　実施中
青　準備中
緑　構想段階

２.活動報告

9 月 8 日（土）
ママサロン「おっぱい塾」
場所：気仙沼市田中前　三条小児科
参加者：母子 5 組 10 名
・母子健康相談
・ハンドマッサージ

9 月 9 日（日）
サイコロジカル・ファーストエイド講習会
場所：気仙沼市民会館
参加者：9 名

10 月 13 日（土）
ママサロン「おっぱい塾」
場所：気仙沼市田中前　三条小児科
参加者：母子 8 組 16 名、妊婦 1 名
・母子健康相談
・ハンドマッサージ

10 月 27 日（土）28 日（日）
母乳育児勉強会
場所：気仙沼市立病院
参加者：12 名

11 月 24 日（土）25 日（日）
母乳育児勉強会
場所：気仙沼市立病院
参加者：12 名

1 月 12 日ママサロン「おっぱい塾」
場所：気仙沼市田中前　三条小児科

講師：熊谷看護師
参加者：母子８組 17 名
･ベビーマッサージ、健康相談

今回は気仙沼市民健康管理センター「すこやか」にお勤めの熊谷看護師にベビーマッサージを指導していただきました。緩やかな曲をかけながら母子ともに皆さんリラックスして、親子の触れ合いを楽しんでいらっしゃいました。講師の先生やお母さんたちより若干会場が狭いとのお声もありました。

2 月 9 日ママサロン「おっぱい塾」
場所：気仙沼市田中前　三条小児科
講師：末吉朋子さん
参加者：母子 4 組 9 名
･ママのリラクゼーション（ヨガ)、健康相談

2 月 11 日母乳育児学習会　in　気仙沼
場所：気仙沼市本郷　ゲストハウス　アーバン

参加者：47 名
詳細については別紙のニュースレターをご覧ください。

3 月 9 日ママサロン「おっぱい塾」
場所：気仙沼市田中前　三条小児科
講師：末吉朋子先生
内容：ママのリラクゼーション（ヨガ）
参加者：母子 4 組 8 名

4 月 13 日ママサロン「おっぱい塾」
場所：気仙沼市田中前　三条小児科
講師：三橋助産師
参加者：１組２名

5 月 11 日　第 2 回母乳育児学習会 in 気仙沼

10:30～15:00

場所：気仙沼ホテル観洋

参加者：40 名

詳細についてはニュースレターVol.2 をご参照ください。

6 月 8 日ママサロン「おっぱい塾」

場所　気仙沼市田中前　三条小児科

講師　歯科衛生士　（内容）赤ちゃんの虫歯の話

参加者：4 組 9 名

３.会計報告

日付	援助金	交通費	宿泊費	会議費	文具･備品	印刷･広告	人件費	謝金	その他	支出合計	残高
											0
2012/10/5	200,000									0	200,000
12/10/14～26	0	78,980	49,605	0	0	0	0	48,000	0	176,585	23,415
2012/12/14	1,000,000									0	1,023,415
2013/1/25	1,500,000									0	2,523,415
2012/11/1～11/30	0	116,080	23,400	62,440	0	98,700	300,000	60,000	840	661,460	1,861,955
2012/12/25～12/31	0	49,080	7,000	25,700	0	0	100,000	0	0	181,780	1,680,175
12/10/13～13/1/30	0	35,810	15,375	5,250	0	0	100,000	55,000	7,840	219,275	1,460,900
13/2/6～13/2/28	0	160,710	25,000	171,115	1,539	0	100,000	130,000	5,145	593,509	867,391
13/2/28～13/3/30	0	79,870	50,500	10,000	0	0	100,000	0	840	241,210	626,181
13/4/1～13/4/30	1,800,000	30,620	22,700	3,974	2,242	113,400	100,000	10,000	1,865	284,801	2,141,380
13/4/28～13/5/31	0	175,630		294,455	920	121,530	100,000	90,000	903,800	1,686,335	455,045
13/5/10～13/6/30	0	88,330	6,980	2,840	2,299	0	100,000	0	1,840	202,289	252,756
費目別合計	4,500,000	815,110	200,560	575,774	7,000	333,630	1,000,000	393,000	922,170	4,247,244	

ロータリーからの援助金　450 万円のうち 424 万 7 千円を使用し、25 万 2 千円は次年度にに繰り越しています。

東北すくすくプロジェクト
被災地母子支援

2013.02

＜発行元＞東北すくすくネットワーク

被災地の赤ちゃんとママのために

レポート

「母乳育児学習会 in 気仙沼」開催

2 月 11 日厳しい寒さの中、気仙沼において母乳育児学習会が開催されました。会場は母子支援に燃える女性たちの熱気に包まれました。

＜開催日時＞
2013 年 2 月 11 日（月）10:30-15:00

＜開催場所＞
ゲストハウス　アーバン　気仙沼市本郷 22-5

＜助成＞
東京ロータリークラブ、トヨタ財団

＜後援＞
NPO 法人日本ラクテーションコンサルタント協会

＜運営管理＞
一般社団法人　東日本大震災被災地における地域医療を守る会、一般社団法人　裸足醫チャンプルー

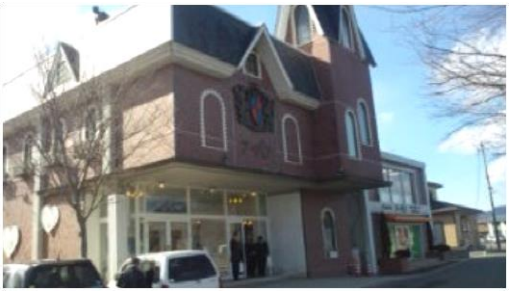
学習会開催趣旨

この学習会は、被災地母子支援「東北すくすくプロジェクト」の一環として東京ロータリークラブ、トヨタ財団の助成により開催されました。本学習会は、主に被災地において母子支援に携わる人々の人材の育成、スキルアップを目的としています。そしてまた、被災各地よりこの学習会にご参加いただいた人々らによって支援の輪が広がり、被災地でより良い母子支援がおこなわれることを目指しています。

学習会講義内容

1.体重が増えない赤ちゃんへの母乳育児支援
①理論編　高橋有紀子先生（小児科医・亀田総合病院小児科）②実践編　新井基子先生（助産師・日本ラクテーションコンサルタント協会）

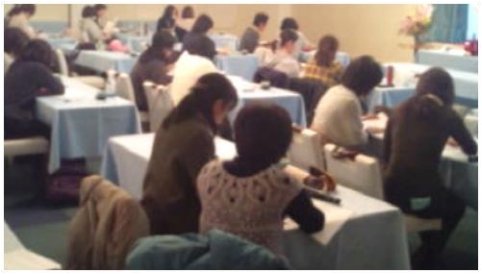
2.地域における母乳育児支援と歯科
青葉達夫先生（小児歯科医・青葉こどもと親の歯科医院）



会場となったゲストハウス「アーバン」
気仙沼市を流れる大川の畔にあります。被災地では会場を探すのも一苦労。「アーバン」は結婚式メインの会場です。そのため建物の壁にはハートの装飾があります。

学習会の講義風景
学習会はスクリーンとテキストを使って進められていきます。参加者の皆さんは真剣な面持ちで講師の先生のお話に聞き入っています。

レポート



母乳育児支援実践編のひとコマ
二人一組でのロールプレイング。保健師役と母親役になり切って・・・。

46＋1＝47 名
学習会参加者総勢 47 名のうち男性は講師の青葉先生ただひりとりだけ。女性のパワーを感じます。

お母さんと一緒
母子参加の受講風景です。子供をあやしながらの勉強は大変です。母子参加は別スペースで受講していただきます。今回は 3 組の母子参加がありました。

参加者データ

47 名

学習会参加者総数（うち講師 3 名）

30 名

宮城県からの参加者（うち気仙沼 11 名）

さらに詳しくは

青森県・・・・・2 名
岩手県・・・・・6 名
福島県・・・・・2 名
その 他・・・・・7 名

被災各地より参加

今回の学習会には様々な地域より総勢 47 名の母子支援者にご参加いただきました。地元気仙沼市内からは 11 名が参加。気仙沼市立病院や気仙沼医師会付属看護学校、気仙沼市民健康管理センター「すこやか」などから、近郊では志津川病院からも 3 名の方にご参加いただきました。また放射能汚染という特殊な事情を抱える福島からは国立福島病院の 2 名の方にご参加いただきました。そのほとんどが被災地からのご参加でしたが、中には東京からの参加者もいらっしゃいました。今回被災地外からのご参加をいただいたのは、被災地の現状を知っていただきたいことと、支援者同士の情報交換をしていただくためです。被災地外からのご参加は 7 名でした。

様々な立場の参加者たち

参加者のほとんどが医師や看護師、助産師などの医療従事者でしたが、行政機関所属の看護師や保健師、それに看護学校の教諭など医療従事者とは立場の違う方々もいらっしゃいました。中には一般の主婦の参加もあり、参加者の年齢層も 20 代から 60 代と幅広くお越しいただきました。この学習会にご参加いただいた様々な方々が連携し、被災地において、充実した母子支援の環境が整うことを願っています。

Information

第 2 回母乳育児学習会 in 気仙沼 開催のお知らせ

＜日時＞ 2013 年 5 月 11 日（土）
10:30－15:00
＜場所＞ 気仙沼ホテル観洋
宮城県気仙沼市港町 4－19
＜プログラム＞
①煙草を止められない母親への母乳育児支援
②コミュニケーション　スキル
③補完食

＜定期開催＞ママサロン「おっぱい塾」

＜日時＞ 毎月第 2 土曜日
13:30－15:30
＜場所＞ 気仙沼市田中前　三条小児科
＜内容＞ 母子の健康相談、ベビーマッサージ、ヨガなどその都度内容は変わります。

お申込み・お問い合わせ先 e-mail
東北すくすくネットワーク事務局　千代田
yasunobu.chiyoda@gmail.com

Omake

今回の学習会には他の被災地支援団体「毛糸のおっぱいプロジェクト」の出展がありました。

写真の「あむあむおっぴ」は被災女性らによって気仙沼で編まれ石巻でタグ付けパッケージされています。

＜発行元＞
被災地母子支援　東北すくすくネットワーク

東北すくすくプロジェクト
被災地母子支援

2013.05

＜発行元＞東北すくすくネットワーク

被災地の赤ちゃんとママのために

レポート

第 2 回「母乳育児学習会 in 気仙沼」開催

5 月 11 日新緑の薫る気仙沼において第 2 回「母乳育児学習会 in 気仙沼」を開催いたしました。今回の学習会には東京ロータリークラブの皆様がご見学にいらっしゃいました。

＜開催日時＞
2013 年 5 月 11 日（土）10:30-15:00

＜開催場所＞
気仙沼ホテル観洋 http://www.kkanyo.jp/
宮城県気仙沼市港町 4-19

＜助成＞
東京ロータリークラブ
http://www.tokyo-rc.gr.jp/indexj.htm

＜後援＞
NPO 法人日本ラクテーションコンサルタント協会
http://jalc-net.jp/

＜運営管理＞
一般社団法人　東日本大震災被災地における地域医療を守る会 http://www.mamoru-kai.org/
一般社団法人　裸足醫チャンプルー
http://barefoot-doctors.org/

学習会開催趣旨

この学習会は、被災地母子支援「東北すくすくプロジェクト」の一環として東京ロータリークラブの助成により開催されました。本学習会は、主に被災地において母子支援に携わる人々の人材の育成、スキルアップを目的としています。そしてまた、被災各地よりこの学習会にご参加いただいた方々によって支援の輪が広がり、被災地でより良い母子支援がおこなわれることを目指しています。

学習会講義内容

1.補完食
多田香苗先生（小児科医・IBCLC）
2.コミュニケーション・スキル
五十嵐祐子先生（IBCLC）
3.たばこをやめられない母親への母乳育児支援
大山牧子先生（小児科医・IBCLC）

会場の「気仙沼ホテル観洋」
今回会場となった「気仙沼ホテル観洋」は気仙沼を代表するホテルのひとつで気仙沼湾を臨む高台にあります。

東京ロータリークラブの皆様
学習会の講義をご見学される東京ロータリークラブの皆様（左）と参加者にご挨拶をされる岡崎由雄東京ロータリークラブ会長（右）。

レポート

講義風景のひとコマ
コミュニケーション・スキルの講義はグループワーク主体です。グループごとにディスカッションします。

力が入ります
真剣に講義に耳を傾ける参加者たちを前に講義する先生の声にも熱がこもります。

タバコと母乳の関係
喫煙する母親の場合、母乳より人工乳の方が良いような気がしますが・・・・・実際は母乳の方が赤ちゃんへの健康被害は少ないそうです。

参加者データ

40 名

学習会参加者総数（うち講師 3 名）

宮城県 31 名

（うち気仙沼市より 10 名）
岩手県 4 名
その他 5 名

どんな職種？

助産師・・・・・29 名
保健師・・・・・ 2 名
医　師・・・・・ 2 名
その他・・・・・ 7 名

宮城県内から多くの参加

今回の学習会はその多くが宮城県内および気仙沼近郊の一関や大船渡からの参加となりました。前回の学習会から引き続きご参加いただいた方は 15 名でしたが、新規に参加された方でも前回の参加者と同じ職場からご参加いただいた方が多く見られたのが特徴的でした。所属先としては公立、民間を問わずその地域における基幹病院に所属する方々が 6 割となっています。また専門職ではなく、気仙沼で毎月開催しているママサロンの利用者から 2 名のママの参加もありました。

参加者の声

学習会を終えて、参加者の方々よりたくさんのご意見をいただきました。多くの方より「役に立った」「わかりやすかった」などの感想をいただいた中、「すでに知っていることが多かった」などの厳しいご意見もいただきました。講義内容としては大山先生の「たばこ・・・・・」の講義への関心が高く、身近に喫煙妊婦の問題を抱える方が多いようです。また今後取り上げてほしい講義として母乳育児に関する講義はもちろんですが、ALSO やメンタルヘルス、支援者間におけるエンパワーメントに関する講義を希望する声もありました。最後に気仙沼もしくはその近郊にて継続的に学習会の開催を要望する声が多く寄せられていました。今後、被災地において母子支援活動を展開するにあたり、皆さんから寄せられたご意見、感想を反映させ、より良い活動をおこなってまいりたいと思います。

Information

＜定期開催＞ママサロン「おっぱい塾」
＜日時＞ 毎月第 2 土曜日
13:30－15:30
＜場所＞ 気仙沼市田中前　三条小児科
＜内容＞ 母子の健康相談、ベビーマッサージ、ヨガなどその都度内容は変わります。

お申込み・お問い合わせ先 e-mail
東北すくすくネットワーク事務局　千代田
yasunobu.chiyoda@gmail.com

Omake

学習会では他の母子支援団体の出展ブースがあり、教材の紹介や販売をしています。今回は「毛糸のおっぱいプロジェクト」と「BSNJapan」の出展がありました。

知っていますかぁ？・・・・・気仙沼のゆるキャラマスコットの「ホヤぼーや」です。気仙沼のアピールのために頑張っています。写真は毛糸のおっぱいプロジェクト製毛糸の「ホヤぼーや」。

＜発行元＞
被災地母子支援　東北すくすくネットワーク